

奥中山学園歌

1. やわらかく目にしみる

青い大空

いつの日も美しい

西岳のいただき

ふりそそぐ太陽の

光をあびて

今日も生きるよろこび

友と生きるよろこび

2. なごやかに手をつなぎ

はげむ友たち

園にさくひまわりの

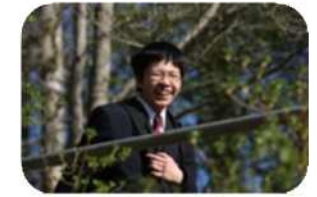
花のように明るく

すこやかな心に

希望をだいて

今日も生きるよろこび

友と生きるよろこび



知的障害児施設 奥中山学園

(併設 短期入所事業・日中一時支援事業)

〒028-5133

二戸郡一戸町中山字大塚4番地6

電話 0195-35-2314

FAX 0195-35-3406

E-mail gakuen@canaan-jp.com

* 児童施設奥中山学園 定員：40名

奥中山学園は、開設当初から家庭に代わる生活の場として、出来るだけ小さな規模の生活体で、個別に配慮できる暮らしを考えてきました。2006年に全面建て替えをし、一戸建ての家を分散し、寮ごとに6~8名の6つの生活集団に分かれての暮らしとなりました。[5棟：敷地内、1棟：中山地区内（自活訓練棟）の借家]

思春期、青年期という多感な時期に、親元から離れ、仲間から沢山の刺激を受けながら“大人の生活”へ向けて、精神面や生活技術等の成長を目指す方たちに少しでも適切な支援ができるよう願っています。

また、一人ひとりが自分で選び決めていくことの大切さを感じ、「個別の教育支援計画」に沿って、家庭、学校、その他と連携しながら一人ひとりが将来、どこでどのような暮らしをしていくか、そのために奥中山学園として何が出来るかを考えています。

*** 交流棟 ***

入園式、クリスマス会、卒園式等の行事や月に一度の全体での礼拝。また遊びや運動の場など様々な目的で使用しています。



*** 在宅支援 ***

* 短期入所事業

居宅において家族の病気や他の理由に応じて、施設へ短期間の入所を必要とする障がい児・者等に対して、入浴、排泄及び食事等の介護や日常生活上の支援を提供します。

* 日中一時支援事業

障がい児・者等の日中活動の場を確保すると共に、その家族を支援していくことを目的とします。



ゆいまあるの活動の拠点となるショートスティ棟は、生活空間が2つに分かれており、それぞれにリビング、居室、キッチン、トイレ、浴室、洗面所があります。居室は個室になっています

*** 寮での暮らし ***

1つの寮に5~7名が暮らしています。寮では、自分たちで玄関掃除やお風呂掃除、朝食準備などの役割を担い合い、役割を通して周りから必要とされている実感を培っています。同世代の仲間たちが、お互いに助け合ったり、励ましあうなかで、自分自身を知り、相手も知り、それぞれの良さをや違いを感じ合っていきます。

また、寮毎に畑に野菜を植えたり、花壇を作ったり、草取り、雪かき等を皆で行っています。このような暮らしの営みの一つひとつが自分たちの暮らしを支え、また一人ひとりの内面をもたがやしてくれます。



*** 三愛学舎 ***

主に知的障がいをもつ生徒の特別支援学校です。高等部のみの単独校で、本科3年、専攻科2年、通算5年間で、個性に合わせた青年期教育を行っています。奥中山学園と三愛学舎は理念を共有し密に連携しています。



*** 敷地外 泉 ***

泉寮は敷地外の寮です。学校帰りに買物をしたり、地域の行事に皆で参加することもあります。「味噌がない」「電球がきれた」・・・こんなエピソードも体験しながらみんなで工夫し暮らしを作っていきます。